

< 地場産農産物の加工・販売を目標としている事例 >

冬期の所得確保に米・大豆を加工・販売

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県 ^{とわだし} 十和田市 ^{おおくぼ} 大窪			
協定面積 21.6ha	田(100%) 水稲、大豆、野菜	畑	草地	採草放牧地
交付金額 453.4万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費		2%
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		2%
		体制整備に関する活動経費		11%
	農用地維持管理活動経費		35%	
協定参加者	農業者 28人、非農業者 3人			

2. 取組に至る経緯

当集落は十和田市街からほど近く、また八戸市への通勤も容易なことから兼業農家が多く、専業農家については高齢化が進んでいる。

そのため、集落内の受委託を進めて農地の保全や営農組織等の設立に向けた活動を行い、長期的に持続可能な農業ができるよう取り組むこととした。

3. 取組の内容

集落内の非農家と連携して水路・農道等の整備を行っているほか、認定農業者と連携した農作業の受委託も推進し、耕作放棄地の解消に努めている。

また、平成13年に近接する地域に道の駅「とわだ」ができたことから、冬場の所得確保を目指し、集落内の農産物加工センターで米、大豆を使用した味噌、麴、ポン菓子等の製造に取り組み、同駅内の直売所で加工品の販売を行っている。

今後は、十和田市の基幹作物であるながいも、にんにく、ねぎ等の栽培を推進するとともに、林地の間伐を行うなど森林の保護に努め、木材の加工・販売にも取り組んでいきたいとしている。



ポン菓子作り



「道の駅」加工品販売コーナー

[集落の将来像]

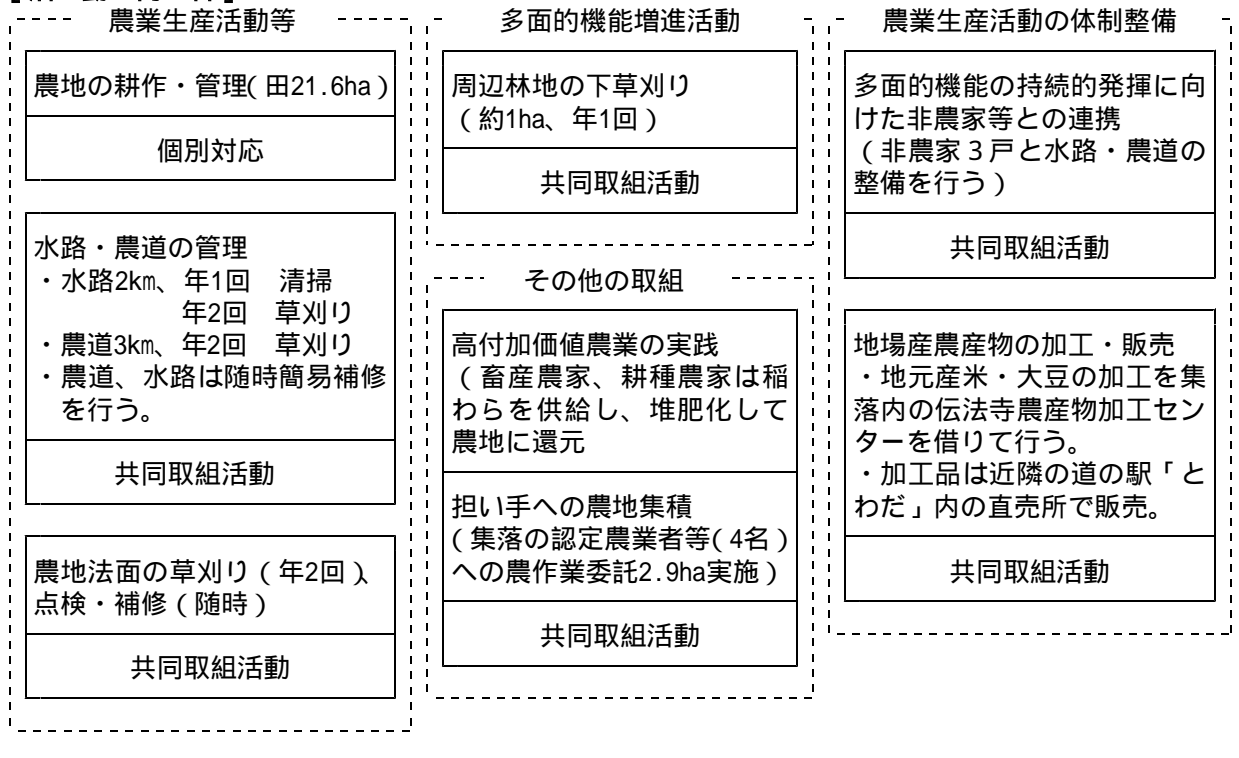
農作業の受委託や営農組織等の設立による農業生産活動等を目指し、機械・農作業の共同化等により生じたゆとりの時間を利用して地域の交流を図り、環境の美化や集落機能の維持増進に努める。
また、近隣に道の駅ができたことから、農産物の地場産品の加工・販売も推進していく。



[将来像を実現するための活動目標]

所得向上に向け、米や大豆の加工品の販売の取組
認定農業者への農作業受委託の推進
非農家等との水路・農道の整備

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

近くに加工センターで農産物の加工に取り組んだことから、地域の女性が気軽に参加でき。集落内に一体感と活力が生じた。一方、産直施設での加工品売り上げが横ばいとなっていることから、新商品の開発が課題となっている。

[平成20年度までの主な成果]

農作業の受委託による農業経営の体制整備強化

- 認定農業者等(4名)への農作業委託(当初1.2ha、目標2.9ha、H20実績2.9ha)

水路・農道の整備

- 農道の敷砂利による補修整備(H20実績300m)

所得向上に向けた地場産農産物の加工・販売の取組

- 道の駅とわだ内産直施設で、味噌、麴、ポン菓子の販売
(売上高:30万円(H18)、30万円(H19)、30万円(H20))